

4 相知地域

相知地域には、25施設が配置されています。

施設種類	庁舎等	衛生施設	義務教育施設	生涯学習施設	福祉施設	保健施設	観光・産業振興施設	合計
施設数	1	1	4	14	3	1	1	25

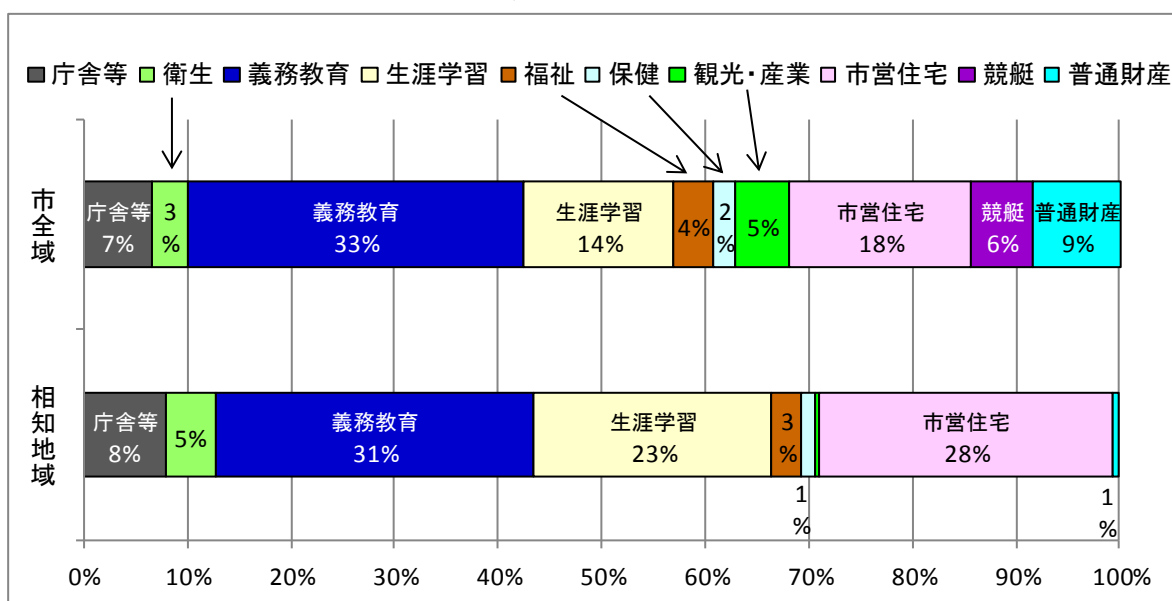
【施設の配置状況（位置図）】



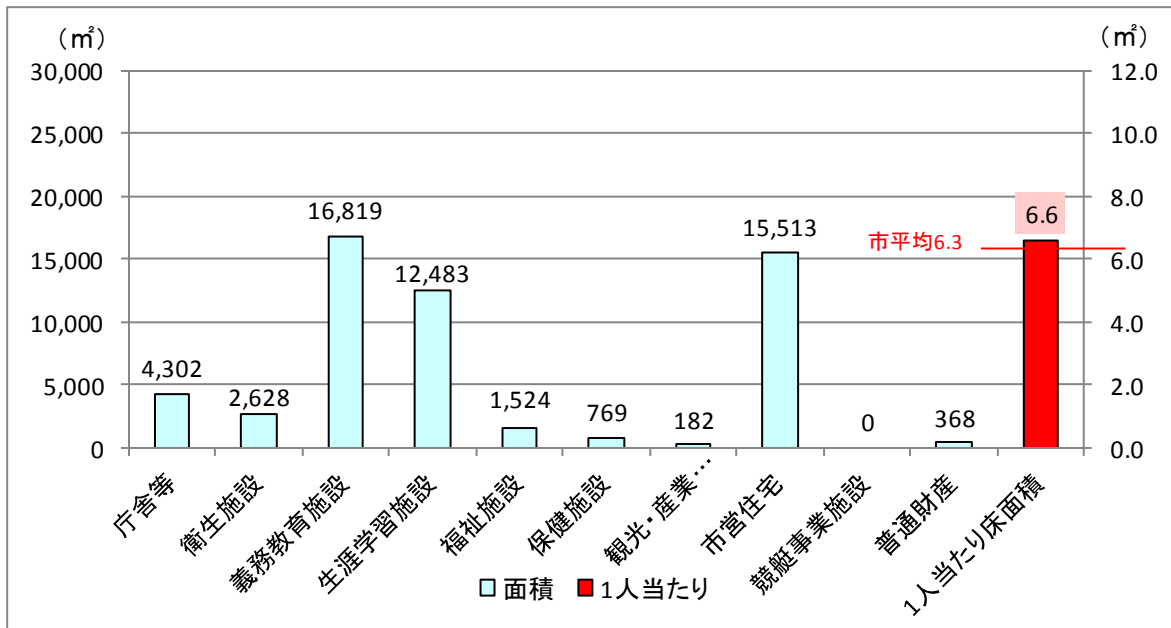
(1) 相知地域の現状

相知地域は、市営住宅の占める割合が28%と高く、義務教育施設と合わせると地域全体の59%を占めています。また、交流文化センターが配置されているほか、閉校した小学校を校区の公民館として活用されているため生涯学習施設の割合も高くなっています。

施設別の延べ床面積ベースの保有比率【相知地域】



施設別の延べ床面積・市民1人当たりの床面積【相知地域】



(2) 相知地域の課題

本地域の相和市民センターは、利用率は高い状況ですが、築年数が古く老朽化が進行していることから、大規模改修若しくは更新を検討する必要があります。

地域の公共施設の約3割を占める義務教育施設のうち、小学校が2校ありますが、伊岐佐小学校は生徒数が少なく生徒1人当たりの維持管理費が高いことから、長寿命化によるライフサイクルコストの削減などの検討が必要です。

地域の公共施設の約2割を占める生涯学習施設のうち公民館が3箇所あります。このうち、牟田部地区公民館の利用者数が他と比べて少なく、そのため利用者1人当たりの維持費が高くなっています。また、プールが2箇所ありますが、いずれも利用者が少なく利用者1人当たりの維持管理費が高いことから、施設のあり方を検討する必要があります。

福祉施設である相和町老人憩の家は年間1万人以上に利用されていますが、施設は老朽化が進行していることから、大規模改修若しくは更新を検討する必要があります。